

令和元年度

# 主要・新規事業等の概要

6月補正予算



高 浜 市

# 目 次

## 一 般 会 計

### 2 款 総務費

#### No. 1 地域内分権推進事業

(コミュニティ助成事業補助金) 【新規】 . . . . . 3

#### No. 2 みんなでまちづくり事業

(まちづくり体験ソフト導入業務委託等) 【継続】 . . . . . 5

### 3 款 民生費

#### No. 3 保育園管理運営事業

(子ども・子育て支援システム改修業務委託) 【新規】 . . . . . 7

### 4 款 衛生費

#### No. 4 老人・成人保健事業

(骨髄提供者助成事業補助金) 【新規】 . . . . . 8

#### No. 5 予防接種事業

(風しん抗体検査委託等) 【新規】 . . . . . 9

## 第6次高浜市総合計画における体系別 主要・新規事業一覧

### I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- No. 1 地域内分権推進事業（コミュニティ助成事業補助金）・・・3
- No. 2 みんなでまちづくり事業  
（まちづくり体験ソフト導入業務委託等）・・・・・・・・・・5

### II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- No. 3 保育園管理運営事業  
（子ども・子育て支援システム改修業務委託）・・・・・・・・・・7

### IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

- No. 4 老人・成人保健事業（骨髄提供者助成事業補助金）・・・8
- No. 5 予防接種事業（風しん抗体検査委託等）・・・・・・・・・・9



第6次高浜市総合計画 将来都市像  
思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま  
～高浜市が目指す姿のキャッチフレーズ～

主要・新規事業等

事業名等	地域内分権推進事業（コミュニティ助成事業補助金）【新規】											
担当グループ	企画部総合政策グループ											
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	03市民活動支援費				
アクションプラン	事業名 03地域内分権推進事業											
事業概要	<p>アクションプラン <input type="checkbox"/>該当する <input checked="" type="checkbox"/>該当しない</p> <p>事業の必要性・実施の背景 市財政状況の厳しい中ではあるが、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図るため、活動をより効果的に実施していくための環境整備を支援していく必要がある。</p> <p>目的（何のために） 『一般財団法人 自治総合センター』が宝くじの社会貢献広報事業として実施するコミュニティ助成事業助成金を活用し、子ども防災リーダー養成講座や中学生防災・減災アカデミーを主催する「高浜の防災を考える市民の会」の活動を充実させるための備品等の購入費を支援するため。</p> <p>対象（誰・何を対象に） 高浜の防災を考える市民の会（まちづくりパートナー登録団体）</p> <p>事業内容（手段、手法など） 「高浜の防災を考える市民の会」の活動を充実させるための備品等の購入費に対する補助を行う。                  &lt;&lt;主な購入備品等&gt;&gt;                  ○発電機                  ○防災LEDマルチライト                  ○移動かまど                  ○イーザーアップテント など</p>											
目指す成果（期待される効果）	防災備品の使い方などを教わった子ども防災リーダーが、友達や親などに使い方を普及させるなど、同世代の子どもから親世代の大人への防災意識の高まりが期待できる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）		
	防災備品などの扱いができる子ども防災リーダーの人数 100名									令和2年3月		
令和元年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	1,400 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	1,400			一般財源	
事業費積算内容	・コミュニティ助成事業補助金 1,400千円											
令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール				◆補助申請受領 ◆交付決定						◆団体からの実績報告 ◆精算手続き ◆県への実績報告		
	←「高浜の防災を考える市民の会」による活動→											
補正予算書及び説明書該当ページ	29ページ											



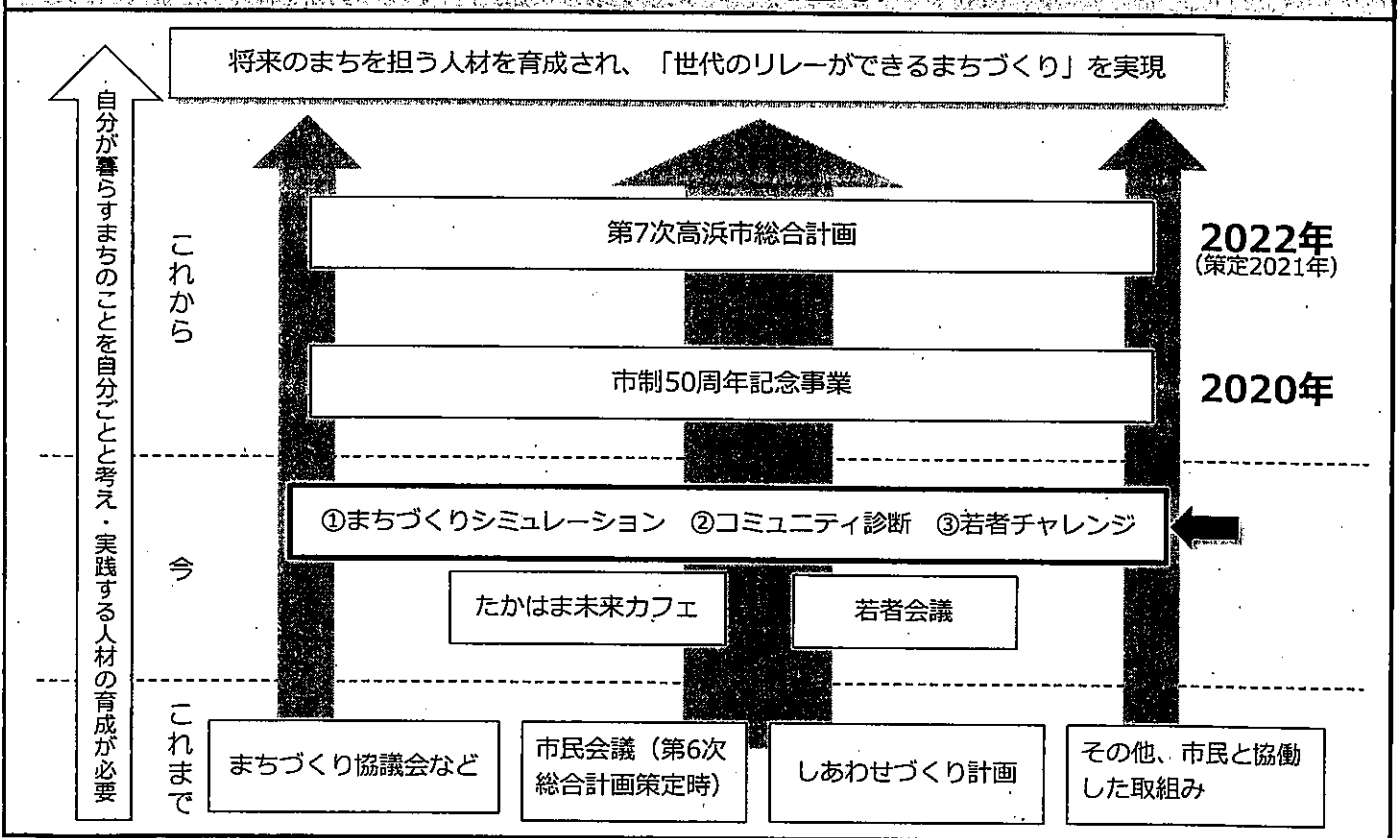
主要・新規事業等

事業名等	みんなでまちづくり事業 (まちづくり体験ソフト導入業務委託等)【継続】													
担当グループ	企画部総合政策グループ													
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費						
事業名	03みんなでまちづくり事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	2020年度には市制施行50周年、2021年度では2022年度よりスタートする第7次高浜市総合計画の策定が予定されている。第7次高浜市総合計画の策定や地域活動など、これまで高浜市が取り組んできた協働のまちづくりをこれからも継続していくため、まちのことを「自分ごと」として考え・実践する人材を発掘し、また育成していく必要がある。												
	目的(何のために)	様々な手法・切り口で、継続的にまちづくりに関わっていただけるような仕組みを構築し、将来のまちを担う人材を育成し、「世代のリレーができるまちづくり」の実現を目指す。												
	対象(誰・何を対象に)	市民(特に若い世代)												
	事業内容(手段、手法など)	①まちづくり体験ソフト(ゲーム)を活用したまちづくりシミュレーション まちづくりをシミュレーションできるまちづくり体験ソフトを活用し、将来の高浜市を考えるきっかけづくりを行う。 ②コミュニティ診断 地域の現状をデータ及び聞き取り調査等から把握し、かつ将来の姿について調査・分析し、将来に向けた課題の発掘等を行い、その課題を解決するための具体的な解決策を、まちづくり協議会を始めとした地域団体等と一緒に検討し、地域の健康診断を実施する。 ③若者がチャレンジできる場の創出 空き店舗や空きテナント等を活用し、若者が起業などにチャレンジできる場・機会を創出する。												
	目指す成果(期待される効果)	①～③のような様々な手法・アプローチにより、自分の暮らすまちや地域のことを考える場・機会が創出され、まちに興味・関心を持つ市民(特に若い世代)が増加し、地域のために自分ができることを実践する市民(特に若い世代)が増加することが期待でき、市制施行50周年記念事業や第7次高浜市総合計画の策定に関わる新たな人材の発掘・育成が期待される。												
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	市制施行50周年記念事業の実施及び第7次高浜市総合計画の策定に関わる市民の数 500人(全市民の1%)										令和4年3月			
令和元年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	3,206千円			国庫支出金	697	県支出金		地方債		その他	1,811	一般財源	698	
事業費積算内容	①まちづくり体験ソフト導入業務委託料 300千円等    合計1,130千円 ②地域コミュニティ診断実施支援業務委託料 300千円等    合計 681千円 ③空き店舗等使用料 1,200千円等    合計1,395千円													
令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール				①	☆委託契約締結 ゲーム上での現高浜市の再現			参加者募集PR ワークショップの開催			☆発表会 ☆効果検証			
				②	☆委託契約締結 データ収集・聞き取り調査実施(診察)			報告書(診断書)の作成			☆地域への フィードバック			
				③	空き店舗等を活用した若者チャレンジ						☆効果検証			
補正予算書及び説明書該当ページ	29ページ													

## これまでの主な取組と成果

事業年度	平成30年度	総事業費	592千円			
これまでの主な取組と成果	◎市制施行50周年記念事業の検討と連携した若者会議の開催 平成31年1月よりメンバー募集を開始し、平成31年3月16日に第1回会議、4月13日に第2回会議を開催した。 第1回テーマ：市民会議メンバーを増やそう、第2回テーマ：市制50周年の取り組みについて メンバー数：若者会議7名、女子ーズ9名、大人チーム19名（令和元年5月10日時点） ◎たかはま未来カフェの開催（平成30年9月29日開催） 10年後の高浜市のために自分ができることを意見交換した。参加者42名（うち中学生10名）					
平成30年度（予算）	取組内容	◎市制施行50周年記念事業の検討と連携した若者会議の開催 ◎たかはま未来カフェの開催				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	592千円	228				364
主な経費	◆謝礼 264千円 ◆消耗品費 109千円 ◆印刷製本費 200千円 ◆食糧費 19千円					

## 資料等（位置図等）



主要・新規事業等

事業名等	保育園管理運営事業（子ども・子育て支援システム改修業務委託）【新規】											
担当グループ	こども未来部こども育成グループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標	(5) 子育て・子育てを支える環境を整えます				
予算区分	会計	一般会計		款	03民生費		項	02児童福祉費		目	02保育サービス費	
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	令和元年10月より施行される「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」により実施される『幼児教育・保育の無償化』に対応するため、システムの改修が必要である。										
	目的（何のために）	幼児教育・保育の無償化の対象となる施設並びに事業を利用する児童等への給付に必要な情報をシステムにおいて管理する。										
	対象（誰・何を対象に）	幼児教育・保育の無償化の対象となる施設並びに事業を利用する児童等										
	事業内容（手段、手法など）	幼児教育・保育の無償化の対象となる施設並びに事業を利用する児童等への給付に必要な情報をシステムにおいて管理するために現システムの改修を行う。 ・システムにおいて、新たに管理が必要となる施設及び事業 ①私立幼稚園（新制度未移行の私立幼稚園）      ②企業主導型保育事業所 ③認可外保育施設      ④幼稚園の預かり保育事業										
目指す成果（期待される効果）	「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」により実施される『幼児教育・保育の無償化』に対応が可能となる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」により実施される『幼児教育・保育の無償化』に対応する。										令和2年3月	
令和元年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	6,600 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
			6,600									
事業費積算内容	子ども・子育て支援システム改修業務委託料 6,600千円 （当初予算額 946千円 6月補正額 5,654千円）											
令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール				←システム改修（事業者）→								
				←運用準備→			←運用→					
補正予算書及び説明書該当ページ			31ページ									



## 主要・新規事業等

事業名等		老人・成人保健事業（骨髄提供者助成事業補助金）【新規】										
担当グループ		福祉部健康推進グループ										
総合計画区分		基本目標 IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう					個別目標 (11) 一人ひとりの元気と健康づくりを 応援します					
予算区分		会計 一般会計		款 04衛生費		項 01保健衛生費		目 02保健・予防費			事業名 01老人・成人保健事業	
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	骨髄移植・末梢血幹細胞移植は、白血病などの治療として行われているが、骨髄提供候補者の仕事の都合などが骨髄提供を妨げる要因となっている。このため、骨髄提供を希望する市民やその市民が勤務する事業所の負担を軽減し、骨髄提供をしやすい環境づくりを行う必要がある。										
	目的（何のために）	骨髄・末梢血幹細胞の提供を希望する人が、骨髄提供しやすい環境を整備し、移植の推進を図る。										
	対象（誰・何を対象に）	高浜市に住民登録がある骨髄提供者及びその骨髄提供者が勤務する事業所										
	事業内容（手段、手法など）	骨髄・末梢血幹細胞の提供を行った市民及びその市民が勤務する事業所に補助金を交付する。骨髄提供のための通院、入院に要した日数により、骨髄提供者は1日につき2万円、骨髄提供者が勤務する事業所は1日につき1万円を交付する。（ただし、1回当たり7日を限度とする。）										
目指す成果（期待される効果）		骨髄提供しやすい環境を整えることにより、骨髄移植・末梢血幹細胞移植を希望する患者に対する移植が推進される。										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）								達成時期（いつまでに）		
		骨髄提供を希望する市民やその市民が勤務する事業所の負担を軽減し、骨髄提供をしやすい環境を整える。								令和2年3月		
令和元年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	210 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			105		
事業費積算内容		骨髄提供者助成事業補助金 210千円										
令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		<div style="text-align: center;"> </div>										
補正予算書及び説明書該当ページ		31ページ										





